



子供の家庭教育

三年前より島津公爵家の家庭教師として努力せる英國人ハロ
ード嬢が某新聞記者に語りたるもの左の如し

○自然の記憶 子供の家庭教育はナカ／＼困難な
ものですが、自然の記憶と注意と云ふ事が尤も肝
心です、子供をして知らず知らず智識を啓發させ
るには何が關係が深いかと云ふと玩具です、持た
せる玩具によつて色々の注意を引き起させる事が
出来ます、西洋では水彩畫を子供の遊戯として遣

させます、日本でも大分小學校の生徒などが稽古
するやうですが、之れは趣味のある玩具だと思ひ
ます、例へば爰に牧場の畫があつて數頭の牛が居
る、夫れを繪具で子供は思ふさま彩る、紫でも彩
るだろらし、黒でも赤でも黄でも必ず手當り放題
に着色する、此時側に侍て居る母親とか家庭教師
が此牛は赤牛だとか黒牛だとか云つて教えれば自
然色の配合を覺へさせる事が出来る、夫れに子供
は同じ事を幾度も繰返す事は好まないから、山水
とか家屋とかサマ／＼の繪を彩色させて、愉快の
間に注意力を養成させる機會が作られます。

○面白き遊び 何事も遊び半分にはするので特別
に勉強させると云うのではないが、決して無駄には
遊ばせぬ、石盤へ眞直に棒を引かせるとか魚の形
や鳥の形など書かせても宜し、夫れ等の遊びに倦

きたら音楽も面白いのです、音楽ほど子供を活潑に温順しくさせる微妙の力を持つて居るものはありません、同じ子供を遊ばせるにも、愉快に遊ばせるのと不愉快に遊ばせるのとは体育上の健全不健全に非常の影響を及ぼすものです。

○玩具の活用 語學思想を養成させるが爲めに、綴字札と云ふ玩具がある、其札にはABCが一字宛記してあつて二十六字一組としてゐる、其一組を各自の子供に渡し置き、最初に母親なり家庭教師なりが其の札で一つの綴字を置く、例へばDと云ふ綴りを其處へ出したら、側に居る子供達は其綴字内のDとかOとかGとか其内の一字を取つて頭字とし、一番綴りの長い字を捜させる、ケレども小さい子供が爾う澤山の字を知つて居やうもなし、ですから其場合には字引なり書籍なりを見

て綴らせませす、爾うして一番長い綴字を見出したのを優等とする、斯うしてサマソの字を繰返へさせる間には自然言葉も覺えるし、字の綴りも覺える、玩具には有益なものが澤山ありませす、凡て子供には一度に澤山玩具を與へるのは宜しくないと思ひませす、第一粗末にするし、又一々玩具の趣味を解する事が出来ないで仕舞ひませすから、從つて記憶や注意を與へる事が出来ずに玩具が何にも活用をしませせん。

○數學的思想 數學的思想の大切なる事は云ふ迄も御座いませせんが之れは子供の時から注意をさせると段々規律正しい美風を養成させることが出来ませす、子供の玩具にも其考案から成立つたものが澤山ありませす、最初に數と云ふ事を覺えさせる爲め、數字的を空氣銃で討つと云ふ遊戯がありませす、

之れはさまざまの數字を記した板があつて、其處へ釣が付いて居る、其釣へ金星でも銀星でも的を掛け、夫れを狙つて空氣銃で撃つのです、的中は非常に興味もある、其撃當てると同時に的の下に記してある數字も記憶するやうになる斯んな事から自然と數を覚えさせ、夫れから數取り遊戲に移るのです、之れは詰り乗算の九々を覚えさせる爲めの玩具で、九々の書いてある札を問に應じて合せさせ、同時に裏を起して置き残らず合せ終ると一つの繪になる趣味のある遊戲であります。

○時計の玩具 夫れから時間の事を教える爲め玩具の時計があります、母親なり家庭教師なりが時計の針を廻して其針の留つた處を子供達に當てさせる、爾うして一番早く夫れを言當たるものが優等になります、夫れで最初は極く簡易い十時とか

一時とか云ふ處へ正しく針を置いて當てさせます、が、次第に困難しい時間を覚えさせるやうにする、例令ば十時廿八分とか云ふやうに一寸考へ悪くして當てさせますので面白い話しても仕ながら之れを教える子供も喜んで愉快に遊びます。

○戶外遊戲 併し斯ういふ玩具を持つて遊ばせるのは雨天の日とか夜のお伽にする室内遊戲です、發育盛りの子供には成可く戶外の遊戲をさせ、新鮮なる空氣を呼吸するやうに仕たい、詰り勉強させるると云ふよりは健康が第一です、子供の時に不健康であつたら充分發育する事も出来ず、生涯の不幸となります、戶外の遊戲も色々あります中に競走が一番身体の爲めにもなるし、子供等の興もあるやうです、繩飛び、棒押などは續いて面白い遊戲です。

○木登り 日本にほんの母親ははは餘りあま子供こどもを大切たいせつに仕過しぎるかと思おもひます、玩具おもちゃなども澤山たくさん附つひ過ぎるし泣なくと直ただぐにお菓子かしを與よる子供こどもの機嫌きげんを取るには何時いつも食物じしょつだが食事じしょじの時間じかんの大切たいせつなことを知らないのでしやうか、夫それから可笑おかしいのは木登りきのぼりで、子供こどもは兎角とがき木登りきのぼりを仕したがるものですが、親達おやたちは危険きけんがつて之これを禁とめ止とめる、西洋せいようでは木登りきのぼりは獎勵じやうれいして遣やらせませす、爾さうして手てや顔かほに傷きずを受けたものが一いち等賞とうじやうを得えます、怪我けがをしても泣ないたりすると一週間しゅうかん位くらい輕いい罰則ばつそくを受うけねばなりません、夫それだから少すこし位くらい枝えだで顔かほを引搔ひつかいても泣なくものは少すくない子供こどもながらも泣ないたりしては耻辱はじだといふことを知しり自然しぜんと膽力たんりきを養成やうせいさせるやうになります、一寸ちよとしたことも趣おもしろがことなつて居ゐります、

○小供こどもの喧嘩けんか 兄弟けいていの澤山たくさんあると云いふ事は實じつに愉ゆ

快かいなものですが、兄弟けいていが澤山たくさんあると笑わらつて計はかり遊あそびでは居ゐない、随分ずいぶん喧嘩けんかも仕しますが、斯かういふ場合ばあひには側そばに居ゐる母親ははなり家庭教師かていけうしは咎とがめません黙だまつて見て居ゐる、尤もつと之これは双方さうほうに理由りゆうがあつて自分じぶん達の權利けんりを主張しゆちやうする場合ばあひです、一方いほうが正當せいとうで一方いほうが不ふ當とうな時は双方さうほうの間に立たつて判決はんけつを與あたへて遣やります、喧嘩けんかと云いふと人聞ひときの悪わるいやうに聞きこえるが、頭あたまごなしに一概いぱいに咎とがめべきものではありませせん、ケレども一いちツの玩具ぐわんぐを二人ふたりの子供こどもが争あらそつて欲ほしがるやうな場合ばあひには双方さうほうに與あたへます、又また餘り屢しばしば々々喧嘩けんかをすると互たがひに罰ばつしられますから、喧嘩けんかを仕して居ゐても咎とがめられ、ば直ただぐに止やめる、段々だんだん其その習慣じゆはんが付つけば後のちには喧嘩けんかを仕しなくなるやうになる。

○軍人いくさじんの玩具ぐわんぐ 大勢おほぜいの子供こどもをもつて居ゐる家族かぞくでは健康けんこうと教育けういくが一番いちばん困難こんなんです、尙武せうぶ教育けういくに尤もつとも重おもき

を置くのも其の譯なので、男女に關はらず體操と云ふ事は尤も獎勵したい、又遊びに倦きた時には軍人の咄しなど面白く咄して聞せるのは尤も爲になりませす、又兵士の玩具を持たせるのも至極宜いが、日本のは何うも子供の智識を啓發させる趣味がない、之れは大なる缺點だと思ひます、軍服を着た人形もあるし、槍を持った古代の武人も玩具に出來て居るが、西洋のとは全く着眼處が異つて居ます、西洋で軍人の玩具と云へば大尉なり中尉なりの軍服から軍帽が悉く其時の制度に法て拵へてある、服裝の色から帽子の筋まで、一目して之れが大尉なり中尉なりと云ふ事を子供に記憶させるやうに出來て居る、中には負傷した軍人の玩具などもあります。

○玩具の始末 凡て戶外の遊戲で勞れた時は、室

内で思ひくの遊びをさせます、船の形を拵へるとか機械を造るとか、大工の眞似をするとか、何をさしても無駄な遊びをさせないやうにしますと、爾うすれば遊ぶ間に自然子供心に發明する處がありませう、夫れから子供には『自分で仕た事は自分で仕末を付ける』と云ふ習慣を修養させなくてはなりません、自分が出した玩具を人に取片付けさせるやうでは、大人になつて物を整理する觀念が乏しくなる詰り玩具などは子供の方が秩序よく收納やらになれば結構です。

○日本の婦人 日本人は一般に物事に聴く、一度賭たり聞いたりすれば直に眞似をして遣つて見る爾うして上手に夫れを成功させますには感服の外は御座いませんが、唯惜い事には活潑の性質を缺いて居る、殊に婦人は餘り靜過ぎます、之れは誠

に温順で結構な事だが、斯うなると勢ひ交際と云ふ事に疎くなつて因循して仕舞ひます、言換れば餘り臆病です、モ一少し活潑にしたら實に世界の婦人界に立て間然する處なら美德の婦人が出來やうと思ふ併し活潑と云つても程度がありまして男見た様では困ります。

○子供らしき教育 日本の親達は子供を連れて音楽會へ往くが、西洋には开んな事はありません、幾ら子供が連れて往つて呉れとセガンでも母親は斷然夫れを拒む、然るに、日本の習慣として場所も選ばず親の往く所へは何處へでも連れて往く、之は子供の教育を誤て居ると思ふ、凡て子供らしく仕て育てないので、夫故西洋には子供の往くべき音楽會が別に設けてある、又日本の子供は、客が咄しを仕て居る中で遊んで居る、之れは至つて

子供の爲になりません、歐羅巴では厳しく之れを戒しめ萬一客の前へでも子供が出た事なら後で小叱を言はれる、要するに大人の集る處へは子供の集らぬ方が宜しい。

○大人と遊ぶ 西洋では子供は嚴肅に育てますが日本では兎角あまやかして愛に溺れ過ぎます。夫れ故日本の子供は大人の間へ這入つて遊そびたがる爾うかと思ふと庭抔に一人で遊んで居る、考へて見ると譯の分らぬ事で、西洋では子供の遊ぶ時には必ず誰か附いて居て無駄に遊ばせない、智識の啓發、體育上の健康と云ふ事には充分着目して居るのです。

○美的の遊戯 體育上男女とも馬に乗るのは至極宜しい、五歳位の子供でも馬には乗せる事は獎勵したいと思ひます、近頃日本では大分自轉車に乗

るのが流行するやうですが、之れは體力を消耗する事が甚しく過度に疲勞するから宜しくないのではありません、其他女子には花束を造らせるとか、美的の遊戯は是非お勧め申したい。

○専門の家庭教師 交際社會に立つて勢力の中心點となるのは婦人ですから、交際多忙の母親は子供の教育上多く家庭教師を頼んで、責任をおびて教育して貰ひます、尤もこれは、生活の程度にも依ること、中流以下の者で家庭教師を頼む資力のないものは従ふて交際も頻繁でないから、母親自身で教育するが、どうも専門の家庭教師の方が経験もあるし母親よりも上手に保育するかと思ひます。



割 烹

石井泰次郎

前號のが豆腐料理ですから、次には松茸といふ順序で、豆腐に松茸の味をそへて見ましよう。

いり松茸の拵方

松茸を能く水で洗ひまして、小口に斜切に切りまして、鍍鍋をからのまゝ、炭火の上にかけてましたのに、入れまして、手早く箸でかきまぜます、少し焼目かついた位の時に、醬油をさしまして、又かきまぜまして、それから柚子のしぼり汁を加へ